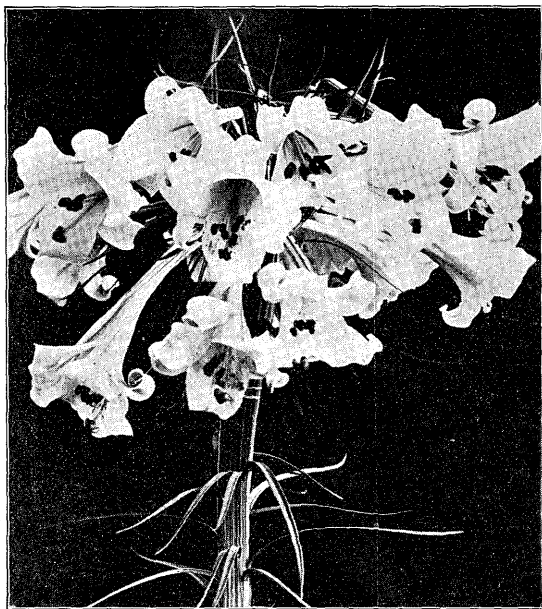
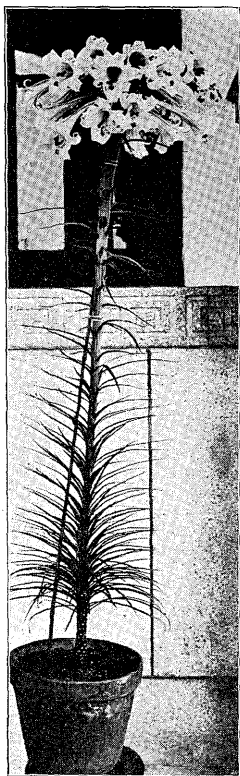
○珍ラシイゆりノ帶化現象

昭和9年8月15日、日赤山田病院ノ玄關ニテ、すぢてつぼうゆり、一名たかさごゆり(*Lilium philippinense* VEITCH.)ノ帶化セル鉢植ヲ見ル。之ハ病院ノ竹内某氏ノ苦心栽培

ニカヽルモノニシテ、2年目ノ今年開花セルモノニテ、帶化現象トハ知ラズ不思議ナおばけト評判ヲナシ居タリ。普通本地方ニテハ之ヲたかさごゆりト呼ビ近頃可成栽培スルヤウニナツタ。莖高 45-60 cm. 位、平滑且ツ少シク紫色ヲ呈ス。葉ハ細キ線形無柄、長サ 6-9 cm. 位、幅 5-6 mm. 位、花ハ夏日莖頂ニ1花ヲ傾斜シテ開キ、漏斗狀花、長サ 18-21 cm. 位、雪白色、外面ノ莖部ニ淡綠暈ヲ呈シ香氣高シ、故ニスベテ觀賞用ニ栽培ス。竹内氏栽培ノ帶化セルすぢてつぼうゆりハ莖高 127 cm. 莖ノ幅最モ廣キ點ハ 35 mm. 地上ヨリ約 41 cm. ノ點ヨリ帶化ヲ明ニ示ス。葉ハ通常品ト同ジ形態ナレド、ソノ著キ方ハ非常ニ複雜化セリ。花數全部ニテ 25、ソノ一個ノ大キサモ通常品ト略同ジ。莖ハ 7 本ノ帶化シタルモノナリ。而シテ本品ハ昭和 8 年播種ソノ年ハ開花セズ、翌年開花セルモノナリ。

現在マデニ報告サレシ帶化植物ニテ自分ノ知ル種類ハ、まつ、すぎ、まき、みつまた、まつばらん、けいとう、なべな、くは、みぞまめ、ほたるぶくろ、やまゆり、きじかくし、めどはぎ、かはらよもぎ、つるうめもどき、まゆみ、はりがねさう、おきなはぢんちやう等ニテ三好博士ハ數十種所藏セラルト聞ク。同博士著、植物學講義中卷 p. 454-5 ニやまゆり

(*Lilium auratum*) ノ帶化ヲ記載サレ「明治 33 年 6 月東京小石川植物園内ニテ、莖高人長ヲ超ヘ、全部帶化シテ幅 4 寸余、兩面ニ無數ノ葉ト花トヲ著ケ、頗ル異者ヲ呈セリ」ト。同屬ナレド *Lilium Philippinense* ハ未ダ報文ナキタメ珍シキモノト思ヒ簡單ニ寫眞ト共ニ報告ヲナシ置ク。(三重縣立宇治山田商業學校教諭 秋山幸一)

○りうきうやぶらんヲ本州ニ得タ

りうきうやぶらん (*Liriope gracilis* NAKAI) ハ琉球ニ產スルやぶらんノ一種デ、最近植物學雜誌 第48卷 776 頁(昭和 9 年 11 月)ニ中井先生ガ書カレタ樣ニ四國迄分布シテ居ルコトガ知レタ。其後私ハ夏休ミヲ利用シテ紀伊ノ尾鷲ニ游ビ一日附近ヲ歩イテ海岸ニ面シタ路傍デ一種ノやぶらんガ淡紫色ノ花ヲ開イテ居ルノヲ見出シ、歸來コレガりうきうやぶらんでアルコトヲ知ツタ。今ノ所コレガ分布ノ東限デアルガ、熊野灘ニ面シタ各地ニモ自生シテ居ルモノト思ハレル。コノ種ヲやぶらんト分カツ第一ノ特徵ハ細長イ匍枝ヲ地下ニ出シテ、直線的ニ延ビ 20-30 cm 宛ヲ距テテハ先端カラ新苗ヲ出スコトデ、やぶらんデハ太イ短柱狀ノ根莖ガアルノミデ匍枝ハ決シテ出ナイ。葉ハ廣線形デやぶらんノ樣ニ線狀披針形デナイ。花モソノ色ガ淡ク、附キ方モ比較的疎デアリ、又內外花被片ノ大小ノ差ガ一層甚ダシイ等ノ區別ガアル。(前川文夫)

○やまほほずき安房ニ產ス

やまほほずきハ關東ノ採集家ニハ或新ラシイ名デアラウ、然シソレヲ昨年秋千葉縣安房郡ノ山中デ得タ、勿論既ニ採ラレタ人モアラウガ、余ハ關東デハ始メテヾアリ且ツ東京ノ權威アル標本室ニハ此方面ヨリノ標本ハ何レモ無イ、依ツテ本品東端ノ產地トシテ報ジテオク。他ニ產地ヲ御承知ノ君子ハ此際大體ノ地點ヲ報告サレタイ。余ハ其產量ノ少キニ鑑ミ詳細ナル所在地點ハ遠慮スル、何ントナレバ近來普通ノモノヲ採集セズ、從ツテ自己周圍ノモノヲ省ズ、徒ラニ珍草奇木ヲアサル徒ノ橫行スルヲ認ムルカラデアル。カヽル徒輩ノ常トシテ數個ノ珍物ノ所有ヲ以テ滿足シ、植物ニ對スル一般的興味ハ永續セズ、切角ノ珍物ハ徒ラニ死藏サレル結果ニナルノガ常デアル。

却說本品ハ *Physalis charnaesarachoides* MAKINO トシテ植物學雜誌 XXII p. 34 (1908) ニ牧野先生ニヨリ公表サレタモノデ、當時判明セシ產地ハ肥前、肥後、河內ニシテ其後近畿及ビ中國地方ニ發見サレタモノデアル。其後牧野先生ハ *Physaliastrum charnaesarachoides* ト改メ植物研究雜誌 (V. No. 6. p. 24) ニ發表サレタ。概形ハせんなりほほずきニ似テ居ルガ漿果ヲ包ム萼ノ脈上ニ棘狀突起ヲ有スル事ガ目立ツガ葉ノ邊緣ハ波狀粗齒ヲ示シテ居ル。勿論一年生ノモノデ高サ二尺ニモ達シ莖ノ直徑 2 cm. ニモ達スルモノガアル。漿果ハ球形デ赤熟スルラシイガ、余ハ未ダ夫レヲ見ナイ然シ標本製作中ニ朱紅色ニナリツヽアル點カラ見テ、赤熟スルラシイ。牧野先生モ原記載ニ余ト同ジ樣ナコトヲ記サレテ居ル。マタ漿果ノ大サモ先生ハ 1 cm. トサレテ居ルガ先生ハ八月採ラレタ標本デ言ハレタノデ十一月